

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	上野 優子
------	-------

主な担当科目	ピアノ
--------	-----

2025年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	学生が主体的に考え、それぞれが目指す表現への一助となるような指導を心がけ、練習方法、音楽表現に沿う運指、作曲家の生涯、楽語(伊語・仏語)の本当の意味について、レッスンおよび演奏会実習での指導を行いました。また、学生の生活や授業への出欠状況などについて、学生一人一人とのコミュニケーションをとることを心がけました。
----------------------------	--

2025年の教育に関 する自己評価	学生自身が工夫して練習し、成長する姿を見守ることが出来て嬉しく思いました。ただ、演奏技術のみが向上するのではなく、感謝の気持ちや他者の心情を推し量り行動出来るように、私自身もさらに精進する必要があると感じています。演奏会実習では演奏家コース3年生はイタリア研修があるため、イタリアでの留学生活および2024年に個人研修でボローニャを訪れた実体験を基に、現地のお勧めなどを学生に伝えることが出来ました。
----------------------	--

2025年のFD活動 に関する自己評価	職員の方々による運営についてのお話、様々なコースの先生方の率直なお話を伺うことが出来る貴重な機会のため、積極的に参加しました。さらに見識を広げるために、そして自分に何が出来るかを考えながら今後も臨む所存です。
------------------------	--

授業改善のために 取り入れた研修内容	外部講師を招いてのハラスメントの講話は具体例があり、同様のことが起きないようにするために大変勉強になりました。また、セメスター制導入・カリキュラム改訂、2027年度芸術工学部新設など変革期にあることを認識し、改めて学生が確実に単位取得して卒業出来るように指導するための手引きとなりました。
-----------------------	--

2025 年度(秋学期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2521 教員名:上野 優子

1)アンケート結果に対する所見

回答者数が少ないものの、概ね満足度が高く、また興味や関心を持って出席している学生が多いことが分かり、嬉しく思う。

2)要望への対応・改善方策

以前の制度より授業回数が 1 回少ないので、学生主体で進行すべきところに対しても、よりスピーディーに対応していきたい。

3)今後の課題

専門分野への能力向上に偏りすぎないように、コミュニケーション能力をさらに深められるような指導を心がけていきたい。

以 上